

福祉サービス第三者評価結果報告書(平成28年度)

2016年 12月 28日

東京都福祉サービス評価推進機構
公益財団法人 東京都福祉保健財団理事長 殿

〒 202-0021

所在地 東京都西東京市東伏見3-5-36-101

評価機関名 有限会社 TCP

認証評価機関番号

機構 06 - 166

電話番号 042-452-8021

代表者氏名 鈴木 純平

印

以下のとおり評価を行いましたので報告します。

評価者氏名・担当分野・評価者養成講習修了者番号	評価者氏名		担当分野	修了者番号
	①	加藤 正樹	福祉	H0601051
	②	菊地 圭子	福祉	H0701097
	③	鈴木 純平	経営	H0701017
	④			
	⑤			
	⑥			
福祉サービス種別	港区保育室			
評価対象事業所名称	港区浜松町二丁目保育室			
事業所連絡先	〒	105-0013		
	所在地	港区浜松町2-3-20		
	TEL	03-6435-9507		
事業所代表者氏名	入江 流美子			
契約日	2016年 7月 7日			
利用者調査票配付日(実施日)	2016年 9月 1日			
利用者調査結果報告日	2016年 10月 7日			
自己評価の調査票配付日	2016年 9月 1日			
自己評価結果報告日	2016年 10月 7日			
訪問調査日	2016年 10月 12日			
評価合議日	2016年 11月 16日			
コメント (利用者調査・事業評価の工夫点、補助者・専門家等の活用、第三者性確保のための措置などを記入)	事前説明には、評価の理解を深めて頂く為、評価の全体像や具体例を用いた判りやすい資料を作成し、職員が可能な限り参加できる時間に職員説明会を実施しました。事業評価においては、自己評価の事実確認に徹し、第三者性の担保に配慮しました。また、利用者調査および事業評価の集計結果には、独自開発による集計シートを用い、グラフと表形式によるとりまとめを行いました。			

評価機関から上記及び別紙の評価結果を含む評価結果報告書を受け取りました。

2016年 12月 26日

事業者代表者氏名 _____

印

1	<p>理念・方針（関連 カテゴリー1 リーダーシップと意思決定）</p> <p>事業者が大切にしている考え（事業者の理念・ビジョン・使命など）のうち、特に重要なもの（上位5つ程度）を簡潔に記述 （関連 カテゴリー1 リーダーシップと意思決定）</p> <p>1)自分の夢を自分の力で実現できる人 2)子どもの自主性を育てる 3)個性を大切にする 4)思いやりの気持ちが育つ心の基地を目指す 5)人の為になる企業でありたい。</p>
2	<p>期待する職員像（関連 カテゴリー5 職員と組織の能力向上）</p> <p>(1)職員に求めている人材像や役割 仕事(出退勤時間、シフト、約束事)に誠実であること。子どもに対して真摯であること。</p> <p>(2)職員に期待すること(職員に持って欲しい使命感) 保育業界の情勢に関心を持ち、子どもの発達を科学的に捉える姿勢と視点を持つ。</p>

調査対象	調査対象は、在園児の保護者全員を対象とし、複数のお子さんが通っている場合は最年少児について、1世帯1回答のご回答をいただきました。なお、利用者数は84世帯となっています。		
調査方法	園より保護者全員に調査票を配布して頂きました。回収については、評価機関へ郵送して頂くか、もしくは、園内に設置した回収ボックスに登降園時に投函して頂くようにしました。		
利用者総数	84		
共通評価項目による調査対象者数	84		
共通評価項目による調査の有効回答者数	58		
利用者総数に対する回答者割合(%)	69.0		

利用者調査全体のコメント

「現在利用している保育園を総合的にみて、どのように感じていらっしゃいますか」との質問に対して、「大変満足」27.6%、「満足」56.9%、「大変満足」と「満足」を合わせると84.5%の回答率となっており、園に対して多くの保護者が満足している状況が伺われます。対して、「どちらともいえない」12.1%、「不満」1.7%、「大変不満」は0.0%となっています。

利用者調査結果

共通評価項目	実数			
	はい	どちらとも いえない	いいえ	無回答 非該当
1. 提供される食事は、子どもの状況に配慮されているか	49	6	0	3
この項目では、49人が「はい」と答え、全体の84.5%を占め、「どちらともいえない」が10.3%、「いいえ」が0.0%、「無回答・非該当」が5.2%という結果という結果でした。				
2. 保育所の生活で身近な自然や社会と十分関わっているか	40	11	3	4
この項目では、40人が「はい」と答え、全体の69.0%を占め、「どちらともいえない」が19.0%、「いいえ」が5.2%、「無回答・非該当」が6.9%という結果でした。				
3. 保育時間の変更は、保護者の状況に柔軟に対応されているか	31	8	2	17
この項目では、31人が「はい」と答え、全体の53.4%を占め、「どちらともいえない」が13.8%、「いいえ」が3.4%、「無回答・非該当」が29.3%という結果でした。				

4. 安全対策が十分取られていると思うか	38	15	1	4
この項目では、38人が「はい」と答え、全体の65.5%を占め、「どちらともいえない」が25.9%、「いいえ」が1.7%、「無回答・非該当」が6.9%という結果でした。				
5. 行事日程の設定は、保護者の状況に対する配慮は十分か	50	5	1	2
この項目では、50人が「はい」と答え、全体の86.2%を占め、「どちらともいえない」が8.6%、「いいえ」が1.7%、「無回答・非該当」が3.4%という結果でした。				
6. 子どもの保育について家庭と保育所に信頼関係があるか	44	11	2	1
この項目では、44人が「はい」と答え、全体の75.9%を占め、「どちらともいえない」が19.0%、「いいえ」が3.4%、「無回答・非該当」が1.7%という結果でした。				
7. 職員は保護者の考えを聞く姿勢があるか	50	6	1	1
この項目では、50人が「はい」と答え、全体の86.2%を占め、「どちらともいえない」が10.3%、「いいえ」と「無回答・非該当」が1.7%という結果でした。				
8. 施設内の清掃、整理整頓は行き届いているか	49	7	1	1
この項目では、49人が「はい」と答え、全体の84.5%を占め、「どちらともいえない」が12.1%、「いいえ」と「無回答・非該当」が1.7%という結果でした。				
9. 職員の接遇・態度は適切か	47	7	3	1
この項目では、47人が「はい」と答え、全体の81.0%を占め、「どちらともいえない」が12.1%、「いいえ」が5.2%、「無回答・非該当」が1.7%という結果でした。				
10. 病気やけがをした際の職員の対応は信頼できるか	48	5	0	5
この項目では、48人が「はい」と答え、全体の82.8%を占め、「どちらともいえない」が8.6%、「いいえ」が0.0%、「無回答・非該当」が8.6%という結果でした。				

11. 子ども同士のトラブルに関する対応は信頼できるか	30	12	0	16
この項目では、30人が「はい」と答え、全体の51.7%を占め、「どちらともいえない」が20.7%、「いいえ」が0.0%、「無回答・非該当」が27.6%という結果でした。				
12. 子どもの気持ちを尊重した対応がされているか	54	2	0	2
この項目では、54人が「はい」と答え、全体の93.1%を占め、「どちらともいえない」が3.4%、「いいえ」が0.0%、「無回答・非該当」が3.4%という結果でした。				
13. 子どもと保護者のプライバシーは守られているか	41	5	2	10
この項目では、41人が「はい」と答え、全体の70.7%を占め、「どちらともいえない」が8.6%、「いいえ」が3.4%、「無回答・非該当」が17.2%という結果でした。				
14. 保育内容に関する職員の説明はわかりやすいか	44	11	2	1
この項目では、44人が「はい」と答え、全体の75.9%を占め、「どちらともいえない」が19.0%、「いいえ」が3.4%、「無回答・非該当」が1.7%という結果でした。				
15. 利用者の不満や要望は対応されているか	41	5	1	11
この項目では、41人が「はい」と答え、全体の70.7%を占め、「どちらともいえない」が8.6%、「いいえ」が1.7%、「無回答・非該当」が18.9%という結果でした。				
16. 外部の苦情窓口（行政や第三者委員等）にも相談できることを伝えられているか	19	12	8	19
この項目では、19人が「はい」と答え、全体の32.8%を占め、「どちらともいえない」が2.7%、「いいえ」が13.8%、「無回答・非該当」が32.8%という結果でした。				

I 組織マネジメント項目(カテゴリ1～5、7、8)

No.	共通評価項目	
カテゴリ1		
1	リーダーシップと意思決定	
サブカテゴリ1(1-1)		
事業所が目指していることの実現に向けて一丸となっている		サブカテゴリ毎の 標準項目実施状況
		6/9
評価項目1 事業所が目指していること(理念、基本方針)を明確化・周知している		
		評点(○●●●)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)を明示している	<input type="radio"/> 非該当
<input type="radio"/> あり <input checked="" type="radio"/> なし	2. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、職員の理解が深まるような取り組みを行っている	<input type="radio"/> 非該当
<input type="radio"/> あり <input checked="" type="radio"/> なし	3. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、利用者本人や家族等の理解が深まるような取り組みを行っている	<input type="radio"/> 非該当
<input type="radio"/> あり <input checked="" type="radio"/> なし	4. 重要な意思決定や判断に迷ったときに、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)を思い起こすことができる取り組みを行っている(会議中に確認できるなど)	<input type="radio"/> 非該当
評価項目2 経営層(運営管理者含む)は自らの役割と責任を職員に対して表明し、事業所をリードしている		
		評点(○○)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 経営層は、自らの役割と責任を職員に伝えている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 経営層は、自らの役割と責任に基づいて行動している	<input type="radio"/> 非該当
評価項目3 重要な案件について、経営層(運営管理者含む)は実情を踏まえて意思決定し、その内容を関係者に周知している		
		評点(○○○)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 重要な案件を検討し、決定する手順があらかじめ決まっている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 重要な意思決定に関し、その内容と決定経緯について職員に周知している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 利用者等に対し、重要な案件に関する決定事項について、必要に応じてその内容と決定経緯を伝えている	<input type="radio"/> 非該当

カテゴリ1の講評

法人の保育理念について、事務室への掲示、しおりへの記載等を行っています

法人として、私たちは子ども達に「自分の夢を自分の力で実現できる人」になってほしいと願っています、を保育理念に掲げています。保育理念等は、事務室への掲示、ご利用のしおりや保育課程等への記載などが行われ、職員および保護者に向けて周知しています。また、保護者には入園時に説明しています。なお、職員や保護者に向けて、理解を深めるような取り組みは、行っていない状況となっています。

昼礼や会議等を通じて、伝えるようにしています

経営層の役割や責任について、昼礼や会議等を通じて、保育者として、人としての大切さを伝えています。経営層は、いろいろな場面において決断を行い、責任を持つことを心がけ、役割と責任に基づいて行動しています。

重要な案件等の決定内容は、掲示や配付により保護者に伝えています

運営・経営上の課題や重要な案件は、クラス等で随時話し合い等が行われ、園長による最終判断による決定がなされています。決定内容や経緯等については、昼礼や職員会議等での報告を基本とし、会議記録等の配布を行い、会議不参加者を含め職員への周知を行っています。保護者に対しては、玄関への掲示や個別配布等により周知しています。

2			カテゴリー2	
2			経営における社会的責任	
			サブカテゴリー1(2-1)	
社会人・福祉サービス事業者として守るべきことを明確にし、その達成に取り組んでいる			サブカテゴリー毎の標準項目実施状況	
			3/4	
評価項目1			評点(〇〇)	
社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理などを周知している				
評価	標準項目			
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 福祉サービスに従事する者として、守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳)などを明示している		<input type="radio"/> 非該当	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 全職員に対して、守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳)などの理解が深まるように取り組んでいる		<input type="radio"/> 非該当	
評価項目2			評点(〇●)	
第三者による評価の結果公表、情報開示などにより、地域社会に対し、透明性の高い組織となっている				
評価	標準項目			
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 第三者による評価の結果公表、情報開示など外部の導入を図り、開かれた組織となるように取り組んでいる		<input type="radio"/> 非該当	
<input type="radio"/> あり <input checked="" type="radio"/> なし	2. 透明性を高めるために、地域の人の目にふれやすい方法(事業者便り・会報など)で地域社会に事業所に関する情報を開示している		<input type="radio"/> 非該当	
			サブカテゴリー2(2-2)	
地域の福祉に役立つ取り組みを行っている			サブカテゴリー毎の標準項目実施状況	
			3/7	
評価項目1			評点(〇●)	
事業所の機能や福祉の専門性をいかした取り組みがある				
評価	標準項目			
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 事業所の機能や専門性は、利用者に支障のない範囲で地域の人に還元している(施設・備品等の開放、個別相談など)		<input type="radio"/> 非該当	
<input type="radio"/> あり <input checked="" type="radio"/> なし	2. 地域の人や関係機関を対象に、事業所の機能や専門性をいかした企画・啓発活動(研修会の開催、講師派遣など)を行っている		<input type="radio"/> 非該当	
評価項目2			評点(●●●)	
ボランティア受け入れに関する基本姿勢を明確にし、体制を確立している				
評価	標準項目			
<input type="radio"/> あり <input checked="" type="radio"/> なし	1. ボランティアの受け入れに対する基本姿勢を明示している		<input type="radio"/> 非該当	
<input type="radio"/> あり <input checked="" type="radio"/> なし	2. ボランティアの受け入れ体制を整備している(担当者の配置、手引き書の作成など)		<input type="radio"/> 非該当	
<input type="radio"/> あり <input checked="" type="radio"/> なし	3. ボランティアに利用者のプライバシーの尊重やその他の留意事項などを伝えている		<input type="radio"/> 非該当	
評価項目3			評点(〇〇)	
地域の関係機関との連携を図っている				
評価	標準項目			
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 地域の関係機関のネットワーク(事業者連絡会など)に参画している		<input type="radio"/> 非該当	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 地域ネットワーク内での共通課題について、協働して取り組めるような体制を整えている		<input type="radio"/> 非該当	

カテゴリー2の講評

児童憲章や児童福祉法(抜粋)をしおりに記載しています

児童憲章や児童福祉法(抜粋)をしおりに記載しています。守るべき規範・倫理等の周知を図っています。職員として守るべき規範・倫理等について、場面を通じて話をするように心がけていますが、十分に理解が深まっている状況とはなっていないことから、研修や施設内で学び等の取り組みが期待されます。透明性を高める取り組みとして、区では第三者評価の受審を計画的に実施するとともに、当年度においては、当園での第三者評価の受審が行われています。

区の園長会に参加しています

地域の町会に園庭の提供を行っています。また、町会関係者に夏祭りや運動会への招待を配付しています。なお、地域への子育て支援としての取り組みやボランティア受入れ等は行われていません。地域の関係機関との連携として、区園長会および療育施設との交流がなされています。

カテゴリ-3		
3 利用者意向や地域・事業環境の把握と活用		
サブカテゴリ-1(3-1)		
利用者意向や地域・事業環境に関する情報を収集・活用している		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 7/8
評価項目1 利用者一人ひとりの意向(意見・要望・苦情)を多様な方法で把握し、迅速に対応している(苦情解決制度を含む) 評点(○●)		
評価	標準項目	
○ あり ● なし	1. 苦情解決制度を利用できることや事業者以外の相談先を遠慮なく利用できることを、利用者に伝えている	○ 非該当
● あり ○ なし	2. 利用者一人ひとりの意見・要望・苦情に対する解決に取り組んでいる	○ 非該当
評価項目2 利用者意向の集約・分析とサービス向上への活用に取り組んでいる 評点(○○○)		
評価	標準項目	
● あり ○ なし	1. 利用者アンケートなど、事業所側からの働きかけにより利用者の意向を把握することに取り組んでいる	○ 非該当
● あり ○ なし	2. 事業者が把握している利用者の意向を取りまとめ、利用者から見たサービスの現状・問題を把握している	○ 非該当
● あり ○ なし	3. 利用者の意向をサービス向上につなげることに取り組んでいる	○ 非該当
評価項目3 地域・事業環境に関する情報を収集し、状況を把握・分析している 評点(○○○)		
評価	標準項目	
● あり ○ なし	1. 地域の福祉ニーズの収集(地域での聞き取り、地域懇談会など)に取り組んでいる	○ 非該当
● あり ○ なし	2. 福祉事業全体の動向(行政や業界などの動き)の収集に取り組んでいる	○ 非該当
● あり ○ なし	3. 事業所としての今後のあり方の参考になるように、地域の福祉ニーズや福祉事業全体の動向を整理・分析している	○ 非該当
カテゴリ-3の講評		
<p>保護者からの意見、要望は、登降園時など、日常を通じて把握するように努めています</p> <p>苦情解決制度について、相談窓口や意見箱の設置等の記載がご利用にしております。ただし、職員や保護者への公表や現状の取り組みとしては確認することが出来ない状況となっています。保護者からの意見、要望については、登降園時など、日常を通じて把握するように努めています。把握された意向に対して、例えば、保護者会に両親揃って参加したいなどの意向に対して、対応するなど、サービスの質向上に向けた取り組みがなされています。</p> <p>地域の福祉ニーズを収集し、状況把握に努めています</p> <p>保護者の意向については、当年度において第三者評価における利用者調査の実施が行われ、意向把握の面で向上が図られました。また、地域や事業環境に関する情報収集として、区園長会や都保育士会への参加がなされています。積極的に保育士会や講演会等に参加し、業界情報の収集に取り組んでいます。さらに、業界誌や保育情報誌の収集、メールによる区からの日常的な情報提供など、福祉事業全体の情報も収集しています。</p>		

カテゴリ4		
4	計画の策定と着実な実行	
サブカテゴリ1(4-1)		
実践的な課題・計画策定に取り組んでいる		サブカテゴリ毎の 標準項目実施状況 1/11
評価項目1 取り組み期間に応じた課題・計画を策定している		
評点(○●●●)		
評価	標準項目	
○ あり ● なし	1. 理念・ビジョンの実現に向けた中・長期計画を策定している	○ 非該当
○ あり ● なし	2. 年度単位の計画を策定している	○ 非該当
● あり ○ なし	3. 短期の活動についても、計画的(担当者・スケジュールの設定など)に取り組んでいる	○ 非該当
評価項目2 多角的な視点から課題を把握し、計画を策定している		
評点(●●●●●)		
評価	標準項目	
○ あり ● なし	1. 課題の明確化、計画策定の時期や手順があらかじめ決まっている	○ 非該当
○ あり ● なし	2. 課題の明確化、計画の策定にあたり、現場の意向を反映できるようにしている	○ 非該当
○ あり ● なし	3. 計画は、サービスの現状(利用者意向、地域の福祉ニーズや事業環境など)を踏まえて策定している	○ 非該当
○ あり ● なし	4. 計画は、想定されるリスク(利用者への影響、職員への業務負担、必要経費の増大など)を踏まえて策定している	○ 非該当
評価項目3 着実な計画の実行に取り組んでいる		
評点(●●●●●)		
評価	標準項目	
○ あり ● なし	1. 計画推進の方法(体制、職員の役割や活動内容など)を明示している	○ 非該当
○ あり ● なし	2. 計画推進にあたり、より高い成果が得られるように事業所内外の先進事例・失敗事例を参考にするなど の取り組みを行っている	○ 非該当
○ あり ● なし	3. 計画推進にあたり、目指す目標と達成度合いを測る指標を明示している	○ 非該当
○ あり ● なし	4. 計画推進にあたり、進捗状況を確認し(半期・月単位など)、必要に応じて見直しをしながら取り組んでいる	○ 非該当

サブカテゴリ-2(4-2)

利用者の安全の確保・向上に計画的に取り組んでいる

サブカテゴリ毎の
標準項目実施状況

3/4

評価項目1

利用者の安全の確保・向上に計画的に取り組んでいる

評点(○○○●)

評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 利用者の安全の確保・向上を図るため、関係機関との連携や事業所内の役割分担を明示している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 事故、感染症、侵入、災害などの事例や情報を組織として収集し、予防対策を策定している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 事故、感染症、侵入、災害などの発生時でもサービス提供が継続できるよう、職員、利用者、関係機関などに具体的な活動内容が伝わっている	<input type="radio"/> 非該当
<input type="radio"/> あり <input checked="" type="radio"/> なし	4. 事故、感染症、侵入などの被害が発生したときは、要因を分析し、再発防止に取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当

カテゴリ-4の講評

中長期計画および単年度計画の明確化により、方向性の理解を深めることが期待されます

中長期計画および単年度計画について、法人等で作成されている状況がうかがわれましたが、具体的に確認することはできませんでした。そのため、園としての計画策定への反映が難しい状況となっています。今後は、中長期および単年度の方向性を示すためにも、法人とのコミュニケーションを進め、計画の明確化を行い、園および職員に向けた周知と理解を深める取り組みが期待されます。

避難訓練の実施、緊急メールの活用など災害発生時に向けた対応に取り組んでいます

安全の確保は、毎月の避難訓練や不審者対応訓練等が実施されています。また、緊急メール等の登録や災害時の備蓄がなされ、災害発生時への対応がなされています。また、感染症発生時は、クラス状況の掲示、などで保護者に知らせ、注意喚起を図っています。

カテゴリ-5		
5 職員と組織の能力向上		
サブカテゴリ-1(5-1)		
事業所が目指している経営・サービスを実現する人材の確保・育成に取り組んでいる		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 3/8
評価項目1 事業所にとって必要な人材構成にしている		評点(○●●)
評価	標準項目	
○ あり ● なし	1. 事業所の人事制度に関する方針(人材像、職員育成・評価の考え方)を明示している	○ 非該当
○ あり ● なし	2. 事業所が必要とする人材を踏まえた採用を行っている	○ 非該当
● あり ○ なし	3. 適材適所の人員配置に取り組んでいる	○ 非該当
評価項目2 職員の質の向上に取り組んでいる		評点(○○●●●)
評価	標準項目	
● あり ○ なし	1. 職員一人ひとりの能力向上に関する希望を把握している	○ 非該当
○ あり ● なし	2. 事業所の人材育成計画と職員一人ひとりの意向に基づき、個人別の育成(研修)計画を策定している	○ 非該当
○ あり ● なし	3. 個人別の育成(研修)計画は、職員の技術水準、知識、専門資格の習得(取得)などの視点を入れて策定している	○ 非該当
○ あり ● なし	4. 職員一人ひとりの個人別の育成(研修)計画に基づいて、必要な支援をしている	○ 非該当
● あり ○ なし	5. 職員の研修成果を確認し(研修時・研修直後・研修数ヶ月後など)、研修が本人の育成に役立ったかを確認している	○ 非該当
サブカテゴリ-2(5-2)		
職員一人ひとりと組織力の発揮に取り組んでいる		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 5/7
評価項目1 職員一人ひとりの主体的な判断・行動と組織としての学びに取り組んでいる		評点(○○○)
評価	標準項目	
● あり ○ なし	1. 職員の判断で実施可能な範囲と、それを超えた場合の対応方法を明示している	○ 非該当
● あり ○ なし	2. 職員一人ひとりの日頃の気づきや工夫について、互いに学ぶことに取り組んでいる	○ 非該当
● あり ○ なし	3. 職員一人ひとりの研修成果を、レポートや発表等で共有化に取り組んでいる	○ 非該当

評価項目2

職員のやる気向上に取り組んでいる

評点(○○●●)

評価	標準項目	
○ あり ● なし	1. 事業所の特性を踏まえ、職員の育成・評価・報酬(賃金、昇進・昇格、賞賛など)が連動した人材マネジメントを行っている	○ 非該当
● あり ○ なし	2. 就業状況(勤務時間や休暇取得、疲労・ストレスなど)を把握し、改善に取り組んでいる	○ 非該当
● あり ○ なし	3. 職員の意識を把握し、やる気と働きがいの向上に取り組んでいる	○ 非該当
○ あり ● なし	4. 福利厚生制度の充実に取り組んでいる	○ 非該当

カテゴリ5の講評

区や都が実施する研修情報の収集がなされています

園の人員配置については、園長が子どもの状況および園全体の運営を考えて、適材適所の配置に努めています。年1回のヒアリングを通じて、研修希望や職員の意向把握に努めています。研修等については、区や都で実施する研修情報から、日常の状況を見ながら、適宜参加に向けて取り組んでいます。また、職員会や昼礼等で、日常の保育についての話し合いや気づきを発表し、職員の学びや共有化等に取り組んでいます。就業状況について、職員が休憩できる休憩室やロッカールームが確保され、日常での気が休まる場となっています。

7			カテゴリ7	
7			情報の保護・共有	
			サブカテゴリ1(7-1)	
情報の保護・共有に取り組んでいる			サブカテゴリ毎の標準項目実施状況	
			6/7	
評価項目1			サブカテゴリ毎の標準項目実施状況	
事業所が蓄積している経営に関する情報の保護・共有に取り組んでいる			6/7	
			評点(000)	
評価	標準項目			
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 情報の重要性や機密性を踏まえ、アクセス権限を設定している		<input type="radio"/> 非該当	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 収集した情報は、必要な人が必要ときに活用できるように整理・保管している		<input type="radio"/> 非該当	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 保管している情報の状況を把握し、使いやすいように更新している		<input type="radio"/> 非該当	
評価項目2			サブカテゴリ毎の標準項目実施状況	
個人情報、「個人情報保護法」の趣旨を踏まえて保護・共有している			6/7	
			評点(000●)	
評価	標準項目			
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 事業所で扱っている個人情報の利用目的を明示している		<input type="radio"/> 非該当	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 個人情報の保護に関する規定を明示している		<input type="radio"/> 非該当	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 開示請求に対する対応方法を明示している		<input type="radio"/> 非該当	
<input type="radio"/> あり <input checked="" type="radio"/> なし	4. 個人情報の保護について職員(実習生やボランティアを含む)が理解し行動できるための取り組みを行っている		<input type="radio"/> 非該当	
カテゴリ7の講評				
<p>重要文書に関して、書庫にて施錠管理がなされています</p> <p>重要文書に関して、書庫にて施錠管理しています。園におけるパソコンのセキュリティ管理は、パスワードによるアクセス制限が設定されています。個人情報保護については、「個人情報保護の取り扱いについて」がしおりに記載され、入園面接時に同意書による周知、確認がなされています。また、区から個人情報等に関する事件、事故等の情報提供が行われ、事例検討による注意喚起が行われています。</p>				

カテゴリー8

8 カテゴリー1～7に関する活動成果

サブカテゴリー1(8-1)

前年度と比べ、事業所の方向性の明確化や関係者への周知、地域・社会への責任の面で向上している

評価項目1

前年度(比較困難な場合は可能な期間で)と比べて、以下のカテゴリーで評価される部分について、改善を行い成果が上がっている
 ・カテゴリー1:「リーダーシップと意思決定」
 ・カテゴリー2:「経営における社会的責任」
 ・カテゴリー4:「計画の策定と着実な実行」

- 改善に向けた計画的な取り組みが行われており、成果として現れている
- 改善に向けた計画的な取り組みが行われているが、成果としては現れていない
- 改善に向けた計画的な取り組みが行われていない

改善の成果

第三者評価の受審がなされ、透明性の高い組織としての向上を図っています

保育理念等は、事務室への掲示、ご利用のしおりや保育課程等への記載などが行われ、職員および保護者に向けて周知しています。屋外や会議等を通じて、保育者として、人としての大切さを伝え、園としての方向性を確認しています。当年度において、第三者評価の受審がなされ、定期的に外部評価を導入し、透明性の高い組織としての向上を図っています。

サブカテゴリー2(8-2)

前年度と比べ、職員と組織の能力の面で向上している

評価項目1

前年度(比較困難な場合は可能な期間で)と比べて、以下のカテゴリーで評価される部分について、改善を行い成果が上がっている
 ・カテゴリー5:「職員と組織の能力向上」

- 改善に向けた計画的な取り組みが行われており、成果として現れている
- 改善に向けた計画的な取り組みが行われているが、成果としては現れていない
- 改善に向けた計画的な取り組みが行われていない

改善の成果

年1回のヒアリングを通じて、研修希望や職員の意向把握に努めています

年1回のヒアリングを通じて、研修希望や職員の意向把握に努めています。研修等については、区や都で実施する研修情報から、日常の状況を見ながら、適宜参加に向けて取り組んでいます。ただし、日常業務の負担が増すなか、十分な研修への参加につながらない状況となっています。また、職員会や屋外等で、日常の保育についての話し合いや気づきを発表し、職員の学びや共有化等に取り組み、職員と組織の能力向上に努めています。

サブカテゴリー3(8-3)

前年度と比べ、福祉サービス提供プロセスや情報保護・共有の面において向上している

評価項目1

前年度(比較困難な場合は可能な期間で)と比べて、以下のカテゴリーで評価される部分について、改善を行い成果が上がっている
 ・カテゴリー6:「サービス提供のプロセス」
 ・カテゴリー7:「情報の保護・共有」

- 改善に向けた計画的な取り組みが行われており、成果として現れている
- 改善に向けた計画的な取り組みが行われているが、成果としては現れていない
- 改善に向けた計画的な取り組みが行われていない

改善の成果

個人情報保護については、入園面接時に同意書による周知、確認がなされています

重要文書に関して、書庫にて施錠管理しています。園におけるパソコンのセキュリティ管理は、パスワードによるアクセス制限が設定されています。個人情報保護については、「個人情報保護の取り扱いについて」がしおりに記載され、入園面接時に同意書による周知、確認がなされています。保管している情報は最新の状態になるように、更新がなされており、情報の保護・共有に努めています。

サブカテゴリ-4(8-4)

事業所の財政等において向上している

評価項目1

財政状態や収支バランスの改善へ向けた計画的かつ主体的な取り組みにより成果が上がっている

- 改善に向けた計画的な取り組みが行われており、成果として現れている
- 改善に向けた計画的な取り組みが行われているが、成果としては現れていない
- 改善に向けた計画的な取り組みが行われていない

改善の成果

予算範囲の中で、コスト管理に気をつけ、財政面の収支バランスを図っています

限られた予算の範囲内において、職員の財務や経費に関する意識を持ち、経費削減を図りながら、年度内における財政状態の収支バランスを図っています。また、日常的に日中の使わない場所での消灯などを心がけ、環境意識を持ち、省エネへの取り組みがなされています。

サブカテゴリ-5(8-5)

前年度と比べ、利用者満足や利用者意向の把握等の面で向上している

評価項目1

前年度(比較困難な場合は可能な期間で)と比べて、利用者満足や以下のカテゴリで評価される部分において改善傾向を示している
・カテゴリ-3:「利用者意向や地域・事業環境などの把握と活用」

- 改善に向けた計画的な取り組みが行われており、成果として現れている
- 改善に向けた計画的な取り組みが行われているが、成果としては現れていない
- 改善に向けた計画的な取り組みが行われていない

改善の成果

当年度利用者調査が実施され、保護者意向の把握の面で向上が図られました

保護者からの意見、要望については、登降園時など、日常を通じて把握するように努めています。把握された意向に対して、例えば、保護者会に両親揃って参加したいなどの意向に対して、対応するなど、サービスの質向上に向けた取り組みがなされています。なお、保護者の意向については、当年度において第三者評価における利用者調査の実施が行われ、意向把握の面で向上が図られました。

II サービス提供のプロセス項目(カテゴリ6-1～3、6-5～6)

No.	共通評価項目	
サブカテゴリ1		
1	サービス情報の提供	サブカテゴリ毎の 標準項目実施状況 4/4
評価項目1 利用希望者等に対してサービスの情報を提供している		評点(〇〇〇〇)
評価	標準項目	
● あり ○ なし	1. 利用希望者等が入手できる媒体で、事業所の情報を提供している	○ 非該当
● あり ○ なし	2. 利用希望者等の特性を考慮し、提供する情報の表記や内容をわかりやすいものにしている	○ 非該当
● あり ○ なし	3. 事業所の情報を、行政や関係機関等に提供している	○ 非該当
● あり ○ なし	4. 利用希望者等の問い合わせや見学の要望があった場合には、個別の状況に応じて対応している	○ 非該当
サブカテゴリ1の講評		
<p>区は保育サービスの利用について冊子やホームページを作成しながら案内しています 公立保育園の基本情報は区で集約し、保育園の利用案内「保育園入園のご案内」を発行しています。また、区立認可園については各園が更新可能なホームページを設置し、園の概要(保育目標・デイリープログラム・子育て支援事業)や活動報告(特集・園だより)を掲載しています。ただし、保育室については運営法人や施設に応じて提供しているサービスの内容が異なる状況であるのに対し、認可園と同等の基準で運営しているとしながらも同様の情報発信体制は整備されていません。今後は区が設置主体として情報発信体制を整えることが期待されます。</p> <p>運営者による主体的な情報発信体制が整っていません 運営者による独自の情報発信について、園のホームページやリーフレットを作成していません。利用希望者は区による情報発信のみを頼りに同園について知ることができる状況です。今後は地域配布用のリーフレットを作成し見学時に配布するなど、利用希望者に積極的に情報を届ける姿勢を示すことが期待されます。</p> <p>見学者には気持ちよく対応し、職員が一生懸命であることをアピールしています 見学者対応について、問い合わせがあった場合は複数組をまとめて案内できるよう日程調整しています。案内は主に園長が担い、明るく気持ちよい対応を心掛けながら、子ども(在園児)の様子を見せながら園生活の様子を紹介しています。アピールポイントは「職員が一生懸命であること」と説明していますが、より客観的に他園との違いや大切にしている保育観等を説明することが望まれます。</p>		
サブカテゴリ2		
2	サービスの開始・終了時の対応	サブカテゴリ毎の 標準項目実施状況 6/6
評価項目1 サービスの開始にあたり保護者に説明し、同意を得ている		評点(〇〇〇)
評価	標準項目	
● あり ○ なし	1. サービスの開始にあたり、基本的ルール、重要事項等を保護者の状況に応じて説明している	○ 非該当
● あり ○ なし	2. サービス内容について、保護者の同意を得るようにしている	○ 非該当
● あり ○ なし	3. サービスに関する説明の際に、保護者の意向を確認し、記録化している	○ 非該当

評価項目2 サービスの開始及び終了の際に、環境変化に対応できるよう支援を行っている		評点(〇〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. サービス開始時に、子どもの支援に必要な個別事情や要望を決められた書式に記録し、把握している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 利用開始直後には、子どもの不安やストレスが軽減されるように支援を行っている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. サービスの終了時には、子どもや保護者の不安を軽減し、支援の継続性に配慮した支援を行っている	<input type="radio"/> 非該当

サブカテゴリ-2の講評

面接で利用者の生活状況や意向を把握するとともに、保育内容について説明しています
 入園の内定者に対しては面接を行って子どもの生活や健康状態について把握すると同時に、保護者の保育に対する意向を聞いています。聴き取りした内容は面接表に記録し、児童票に綴じ込んでいつでも職員が確認できるようにしています。また、「ご利用のしおり」に沿って園生活のきまりや保育内容について説明しています。説明内容に対しては、書面により同意確認を得ています。

入園当初は保育時間を短くしながら徐々に園生活に慣れるように配慮しています
 入園当初は子どもの心身のストレスに配慮し、徐々に保育士や園環境に慣れていかれるよう、1～2週間程度「慣れていく保育」期間を設定しています。ただし、本園は主に乳児を対象とする保育室であり、年間を通じて利用者の入れ替わりが多く、特別に受け入れ体制の強化を行うなどの配慮は行っていません。

退園する利用者への配慮や支援の継続方法について組織的に定めていません
 転園先からの問い合わせがあった場合は、必要な情報を提供しています。ただし、区の指示により「転園に際して特別な配慮や支援は行っていない」ということです。

サブカテゴリ-3

3 個別状況に応じた計画策定・記録 サブカテゴリ毎の
標準項目実施状況 **7/12**

評価項目1 定められた手順に従ってアセスメント(情報収集、分析および課題設定)を行い、子どもの課題を個別のサービス場面ごとに明示している		評点(〇〇●)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 子どもの心身状況や生活状況等を、組織が定めた統一した様式によって記録し把握している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 子どもや保護者のニーズや課題を明示する手続きを定め、記録している	<input type="radio"/> 非該当
<input type="radio"/> あり <input checked="" type="radio"/> なし	3. アセスメントの定期的見直しの時期と手順を定めている	<input type="radio"/> 非該当

評価項目2

子どもの様子や保護者の希望、関係者の意見を取り入れた指導計画を作成している

評点(○○●●●)

評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 計画は、保育課程を踏まえて、養護(生命の保持・情緒の安定)と教育(健康・人間関係・環境・言葉・表現)の各領域を考慮して作成している	<input type="radio"/> 非該当
<input type="radio"/> あり <input checked="" type="radio"/> なし	2. 計画は、子どもの様子や保護者の希望を尊重して作成、見直しをしている	<input type="radio"/> 非該当
<input type="radio"/> あり <input checked="" type="radio"/> なし	3. 計画を保護者にわかりやすく説明している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 計画は、見直しの時期・手順等の基準を定めたうえで、必要に応じて見直している	<input type="radio"/> 非該当
<input type="radio"/> あり <input checked="" type="radio"/> なし	5. 計画を緊急に変更する場合のしきみを整備している	<input type="radio"/> 非該当

評価項目3

子どもに関する記録が行われ、管理体制を確立している

評点(○○)

評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 子ども一人ひとりに関する必要な情報を記載するしきみがある	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 計画に沿った具体的な支援内容と、その結果子どもの状態がどのように推移したのかについて具体的に記録している	<input type="radio"/> 非該当

評価項目4

子どもの状況等に関する情報を職員間で共有化している

評点(○●)

評価	標準項目	
<input type="radio"/> あり <input checked="" type="radio"/> なし	1. 計画の内容や個人の記録を、支援を担当する職員すべてが共有し、活用している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 子どもや保護者の状況に変化があった場合の情報を職員間で共有化している	<input type="radio"/> 非該当

サブカテゴリー3の講評

保育課程を指標として、年間及び月間と週間を単位とした指導計画を立案しています

保育理念に沿って保育目標を達成するための指標として、保育課程を作成しています。これを指標として、年間指導計画及び月間と週間を単位とした指導計画を立案しています。計画は、発達の過程に応じた子どもの姿を踏まえて狙いを設定し作成しています。併せて、個別指導計画を作成しています。実践後の振り返りとして、保育課程および年間指導計画は毎年度末に見直しをしています。今後は、保育課程を開示するとともに、保護者の声を指導計画に反映させる仕組みを設けることが期待されます。

子どもの様子は連絡ノートおよびクラス日誌に記録し、児童票に集約しています

子どもの様子は連絡ノートおよびクラス日誌に記録しています。その記録を振り返りつつ、乳児は月毎に、幼児は期毎に、児童票に成長発達の状態を文書でまとめています。また、満2歳未満の子どもたちには、個別指導計画により心身状況を記録しています。併せて、特に必要な日々の事項は申し送り記録に記録し把握しています。日々の保護者に対する活動報告は、ホワイトボードを用いてクラス活動の様子を記入して掲示しています。

子どもに関する情報を全職員が共有できる仕組みを整えることが望まれます

計画および記録は上記のように作成し、日々の保育で必要なことは園長とクラス担任の間で共有しています。ただし、子ども一人ひとりの情報を園全体で共有する必要性を捉えておらず、伝えていく仕組みも整えていません。指導計画会議を全職員で行ったり、各クラスの保育会議や個別配慮の情報を回覧する仕組みなどを設けていく必要があります。

サブカテゴリー5

5 プライバシーの保護等個人の尊厳の尊重 サブカテゴリー毎の
標準項目実施状況 4/7

評価項目1
子どものプライバシー保護を徹底している 評点(○●)

評価	標準項目	
○ あり ● なし	1. 子どもに関する情報(事項)を外部和やりとりする必要が生じた場合には、保護者の同意を得るようにしている	○ 非該当
● あり ○ なし	2. 子どもの羞恥心に配慮した支援を行っている	○ 非該当

評価項目2
サービスの実施にあたり、子どもの権利を守り、子どもの意思を尊重している 評点(○○○●●)

評価	標準項目	
● あり ○ なし	1. 日常の保育の中で子ども一人ひとりを尊重している	○ 非該当
● あり ○ なし	2. 子どもと保護者の価値観や生活習慣に配慮した支援を行っている	○ 非該当
○ あり ● なし	3. 虐待防止や育児困難家庭への支援に向けて、職員の勉強会・研修会を実施し理解を深めている	○ 非該当
● あり ○ なし	4. 子どもの気持ちを傷つけるような職員の言動、虐待が行われることのないよう、職員が相互に日常の言動を振り返り、組織的に防止対策を徹底している	○ 非該当
○ あり ● なし	5. 虐待を受けている疑いのある子どもの情報を得たときや、虐待の事実を把握した際には、組織として関係機関に連絡し、その後も連携できるような体制を整えている	○ 非該当

サブカテゴリー5の講評

個人情報を守り、子どもの羞恥心に配慮する考え方を確認しています
 個人情報の取り扱いについて、入園面接時に園のしおりに沿って説明し、書面により同意確認を得るようにしています。ただし、緊急に医療機関等への情報提供が間に合わなくなった場合やメディアの取材が入る場面を想定した具体的な取り扱い規定が確認できませんでした。一方、羞恥心への配慮について、おむつ替えの際に他児の目につかないよう配慮しています。乳児中心の園であるため、その他の配慮は特に確認できませんでした。

人権研修の機会や人権に配慮する仕組みを組織的に整えることが期待されます
 保育課程に基づいた保育を行うため、一人ひとりの子どもの情報を共有し、尊重しています。保護者に対しては、新入園時面接や個人面談で価値観や生活習慣を把握し、価値観を尊重しながら保育を行っています。職員への指導について、組織だった人権研修は行われていません。子どもの呼び方など気になった点がある場合はOJTや会議においてその都度指導しています。

子ども家庭支援センターと連携した虐待対応の仕組みを職員に周知することが望まれます
 子どもの心身の状況について気になる状況があれば園長に相談し、虐待が疑われる事案が発生した場合には区の子ども家庭支援センターとの連携により対応を図るようにしています。ただし、虐待対応に係るマニュアルや園内研修は行われておらず、園長不在時の行動基準も設けられていません。園としての仕組みを整備することが期待されます。

サブカテゴリ-6

6 事業所業務の標準化

サブカテゴリ毎の
標準項目実施状況

4/11

評価項目1

手引書等を整備し、事業所業務の標準化を図るための取り組みをしている

評点(○●●)

評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 手引書(基準書、手順書、マニュアル)等で、事業所が提供しているサービスの基本事項や手順等を明確にしている	<input type="radio"/> 非該当
<input type="radio"/> あり <input checked="" type="radio"/> なし	2. 提供しているサービスが定められた基本事項や手順等に沿っているかどうか定期的に点検・見直しをしている	<input type="radio"/> 非該当
<input type="radio"/> あり <input checked="" type="radio"/> なし	3. 職員は、わからないことが起きた際や業務点検の手段として、日常的に手引書等を活用している	<input type="radio"/> 非該当

評価項目2

サービスの向上をめざして、事業所の標準的な業務水準を見直す取り組みをしている

評点(●●●)

評価	標準項目	
<input type="radio"/> あり <input checked="" type="radio"/> なし	1. 提供しているサービスの基本事項や手順等は変更の時期や見直しの基準が定められている	<input type="radio"/> 非該当
<input type="radio"/> あり <input checked="" type="radio"/> なし	2. 提供しているサービスの基本事項や手順等の見直しにあたり、職員や保護者等からの意見や提案、子どもの様子を反映するようにしている	<input type="radio"/> 非該当
<input type="radio"/> あり <input checked="" type="radio"/> なし	3. 職員一人ひとりが工夫・改善したサービス事例などをもとに、基本事項や手順等の改善に取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当

評価項目3

さまざまな取り組みにより、業務の一定水準を確保している

評点(○○○●●)

評価	標準項目	
<input type="radio"/> あり <input checked="" type="radio"/> なし	1. 打ち合わせや会議等の機会を通じて、サービスの基本事項や手順等が職員全体に行き渡るようにしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 職員が一定レベルの知識や技術を学べるような機会を提供している	<input type="radio"/> 非該当
<input type="radio"/> あり <input checked="" type="radio"/> なし	3. 職員全員が、子どもの安全性に配慮した支援ができるようにしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 職員一人ひとりのサービス提供の方法について、指導者が助言・指導している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	5. 職員は、わからないことが起きた際に、指導者や先輩等に相談し、助言を受けている	<input type="radio"/> 非該当

サブカテゴリ-6の講評

運営者として保育実践マニュアルと職員育成計画を整備することが望まれます

職員およびサービスの質について、現在のところ法人内で自己評価するための基準を設けていません。職員個別の指導は職員会議とOJTにのみ頼っており、確認できたマニュアルや研修機会は港区の設定するものを共有する範囲にとどまっています。園長が「新人はミルクの調合、オムツ交換、衣類の着脱解除などを入社前に研修してきてほしい」と考えているように、職員が安定しない中でも、基礎的な学びを支援する仕組みを早急に整える必要があります。

Ⅲ サービスの実施項目(カテゴリ6-4)

		サブカテゴリ4	
サービスの実施項目		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況	
		30/37	
1 評価項目1 子ども一人ひとりの発達の状態に応じた援助を行っている			
評点(○○○○●)			
評価	標準項目		
● あり ○ なし	1. 子ども一人ひとりの発達の過程や生活環境などにより子どもの全体的な姿を把握している		○ 非該当
● あり ○ なし	2. 子どもが主体的に周囲の人やものに働きかけることができるよう、環境構成を工夫している		○ 非該当
○ あり ● なし	3. 子ども同士が年齢や文化・習慣の違いなどを認め合い、互いを尊重する心が育つよう援助している		○ 非該当
● あり ○ なし	4. 特別な配慮が必要な子ども(障害のある子どもを含む)の保育にあたっては、他の子どもとの生活を通して共に成長できるよう援助している		○ 非該当
● あり ○ なし	5. 発達の過程で生じる子ども同士のトラブル(けんか・かみつき等)に対し、子どもの気持ちを尊重した対応をしている		○ 非該当
評価項目1の講評			
<p>保育室内は発達の段階および遊びや生活目的に応じたコーナーを設けています 保育環境について、乳児クラスは発達の段階に応じて設定するとともに、個々のペースで生活や遊びを展開できるようにしています。3歳児クラスではテーブルと椅子を配置するとともに、その都度遊びや生活目的に応じた環境を設けています。クラス担任の裁量により、子どもの状況に応じた環境構成に努めています。今後は玩具の充実を図るとともに、コーナーを設けて子どもが主体的に過ごせる環境を充実させることが期待されます。</p> <p>乳児中心の園であるため、異年齢や異文化の交流機会は特に設けていません 乳児中心の園であるため、子どもの成長段階に応じたクラス保育に重点を置いており、異年齢の交流に係る特別な設定はありません。国際感覚を育む教育機会についても、子どもの年齢が支援の段階に至っていないと判断しています。</p>			
2 評価項目2 家庭と保育所の生活の連続性を意識して保育を行っている			
評点(○○○○)			
評価	標準項目		
● あり ○ なし	1. 登園時に、家庭での子どもの様子を保護者に確認している		○ 非該当
● あり ○ なし	2. 発達の状態に応じ、食事・排せつなどの基本的な生活習慣の大切さを伝え、身につくよう支援を行っている		○ 非該当
● あり ○ なし	3. 休息(昼寝を含む)の長さや時間帯は子どもの状況に配慮している		○ 非該当
● あり ○ なし	4. お迎え時に、その日の子どもの状況を保護者一人ひとりに直接伝えている		○ 非該当

評価項目2の講評

連絡帳や掲示等で園生活の様子を保護者に伝えています

登園時には保護者に声をかけ、2歳までは連絡帳も用いながら、子どもの健康状態や家庭での様子について確認しています。降園時には、担任がいる時間帯であれば担任から、当番の時間帯であれば担任から引き継いだ事柄を伝えています。また、保育内容を報告する手段として、クラス毎に活動内容を記したホワイトボードを掲示しています。

生活リズムや生活習慣が成長発達や保護者の要望に沿ったものとなるよう配慮しています

基本的な生活習慣の指導について、園のしおりに生活リズムや清潔の習慣、デイリープログラム、食事発達の目安など基本的な考え方を示すとともに、保護者会や面談等を通じて年齢毎の子どもの成長発達の段階と支援の進め方を説明しています。その上で、食事や排泄、着脱などの点について、一人ひとりの年齢発達に応じて、日常の中での積み重ねを通して基本的な生活習慣が身につくよう支援しています。午睡時間も子どもの生活リズムや保護者からの要望に沿うようになっています。

3 評価項目3

日常の保育を通して、子どもの生活や遊びが豊かに展開されるよう工夫している

評点(〇〇〇〇)

評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 日常の保育の内容は保育目標を反映して構成されている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 子どもの自主性、自発性を尊重し、遊びこめる時間と空間の配慮をしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 子どもが、集団活動に主体的に関われるよう援助している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 戸外・園外活動には、季節の移り変わりなどを感じとることができるような視点を取り入れている	<input type="radio"/> 非該当

評価項目3の講評

保育目標として掲げる子どもの成長発達の実現に向けて計画的に支援しています

保育理念の下に、園の保育方針「さまざまな体験を通して、心と体のバランスがとれた自立ができるようにする」と保育目標「本気で取り組み最後まであきらめない子ども／思いやりのある子ども／自ら進んで行動できる子ども／自分の感性で想像したり、創っていかうとする子ども」を設定しています。以上および児童票に示される発達の目安を指標とし、子どもの成長を見定め、適切な指導が行われるよう努めています。

乳児の人格形成を支援しながら、リズムや食育活動を特色として取り入れています

本園における保育の特色について、乳児を中心とした園であるため、子どもたちには暖かさや優しさを何より大切に接し、人に対する信頼関係の基礎を築くことを大切にしています。また、具体的な保育内容として、本格的なリズムを導入し、有資格講師による指導のもと友だちといっしょに自由な表現をしながら音楽遊びを楽しんでいます。併せて、食育への取り組みに重点を置いています。

園庭には桜の木があり、季節の移り変わりを感じられる環境になっています

本園の敷地はもともと公園であり、桜の木をはじめとする植樹は豊富で、園内において季節の移り変わりを感じられる環境になっています。園舎を取り囲むように園庭があるのに加え、2階には広いテラスもあり、駅前の商業地区内にあつて落ち着いて遊べる環境を有しています。散歩にも積極的に出かけ、竹芝まで船を見に行く機会も設けています。

4 評価項目4 行事等を通して、日常の保育に変化と潤いを持たせるよう工夫をしている		評点(〇〇〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. みんなで協力し、やり遂げることの喜びを味わえるような行事等を実施している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 子どもが興味を持ち、自ら進んで取り組めるような行事等を実施している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 行事等を行うときは、保護者の理解が得られるような工夫をしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 保育所の行事に地域の人の参加を呼び掛けたり、地域の行事に参加する等、子どもが職員以外の人と交流できる機会を確保している	<input type="radio"/> 非該当

評価項目4の講評

子どもが季節を感じられる機会として行事を企画しています

行事は年間計画を立て、ねらいを持って取り組んでいます。主な年間行事として「入園式・進級式・端午の節句・給食参観・七夕祭り・夏祭り・運動会・遠足・作品展・クリスマス会・お正月遊び・節分・卒園式」等を行い、子どもが季節を感じ、絵本や童謡などを通じて昔ながらの習慣に親しみ、好奇心・想像力・理解力を育てています。誕生日会は月例で行っています。

年度初めに年間行事予定を配布し、保護者が見通しを持って参加できるようにしています

保護者の理解を得るための配慮として、年度初めに年間行事予定を配布し、見通しを持って参加できるようにしています。保護者参加の行事は土曜日に開催し、任意の参加としています。また、保護者の参加を想定していない日常の保育の中で行う行事の様子については、園だよりや写真の掲示により報告しています。

隣接するビル関係者や町内会長等に行事の招待状を届けています

隣接するビルが洪水時の避難場所になっており、お祭りの招待状を届けたり、贈り物を頂いたりするなど、日頃から自然な交流を行っています。また、町内会に対しても運動会等の行事で案内状を送っています。ただし、現在の職員体制に余裕がなく、地域への渉外に割く時間を持っていません。閉園時期が決まっている状況においては、地域との関係を育む必要性も優先順位が低いものと思われれます。

5 評価項目5 保育時間の長い子どもが落ち着いて過ごせるような配慮をしている		評点(〇〇●●)
評価	標準項目	
<input type="radio"/> あり <input checked="" type="radio"/> なし	1. 保育時間の長い子どもが、くつろげる環境になるよう配慮をしている	<input type="radio"/> 非該当
<input type="radio"/> あり <input checked="" type="radio"/> なし	2. 年齢の違う子どもとも楽しく遊べるような配慮をしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 子どもの様子を確実な方法により職員間で引き継いでいる	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. お迎え時には、子どもの日中の様子(担任からの引き継ぎ事項等を含む)を保護者に直接伝えている	<input type="radio"/> 非該当

評価項目5の講評

子どもが長時間にわたり生活する空間を意識し、環境構成を工夫することが期待されます

同園の基本開園時間は7時15分から18時15分、延長保育時間は19時15分まで、ワンモア保育は20時15分までとしています。園で長時間を過ごす子どもの視点に立ち、広い部屋であれば生活空間を分けながら個別のリズムに応じて保育しています。時間帯に応じた環境構成の方法については、今後組織的に具体的な方針と手法を確認することが期待されます。

子どもに関する情報は職員間で引き継ぎ、お迎えに際して当日の出来事を報告しています

朝保護者から連絡を受けたこと、保育の中で引き継ぐべきこと、保護者に伝えてほしいことを、口頭と「申し送り表」に記録しています。同時に、その日にあったことも記録し、子どもを保護者に引き渡す際に直接伝えるようにしています。2歳児まで個別の連絡ノートで、クラスの様子はホワイトボードで、毎日の生活や活動に関する情報を保護者に伝えています。

6 評価項目6

子どもが楽しく安心して食べることができる食事を提供している

評点(〇〇〇〇〇)

評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 子どもが楽しく、落ち着いて食事をとれるような雰囲気作りに配慮している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. メニューや味付けなどに工夫を凝らしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 子どもの体調(食物アレルギーを含む)や文化の違いに応じた食事を提供している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 食についての関心を深めるための取り組み(食材の栽培や子どもの調理活動等)を行っている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	5. 保育所の食育に関する取り組みを、保護者に対して伝える活動をしている	<input type="radio"/> 非該当

評価項目6の講評

子どもが安全に楽しく食事をするために、食材選びと調理にこだわって調理しています

献立は区の統一献立に沿って提供しています。運営者としては安全で安心して食べられる食事の提供を第一に考え、食材選びからこだわりを持っていきます。無添加や国産の素材を中心に、旬の食材を仕入れています。また、素材そのものの味を知らせるために、薄味の調理を心がけています。なお、食器は区が整備した磁器製のものを使用しています。

アレルギー児や乳児への対応は、安全確認や個別配慮を徹底しています

アレルギー児への配慮や対応に関する事項は、区の「給食マニュアル」に則して「給食・離乳食・献立会議」で検討・確認しています。個々の食事の調整は、医師記入の食品除去の情報提供書に基づき除去食や代替食で対応し、職員間の多重チェックにて誤食や配膳間違いの防止に努めています。宗教上の配慮も同様に行っており毎日ミーティングで確認しています。一方、乳児への対応は、子どもの状況や成長を連絡ノートや離乳食進行表などで確認しつつ、個別の体調に合わせて調理方法を調整しています。

「食」を通じて子どもの心や友達とのつながりを育んでいます

園では、友だちと一緒に給食を囲み「団らん」を通じて築かれる絆やしつけなど、心に関係した事柄を広く「食育」と捉えています。また、2歳児以上の子どもは、トマトやイネの栽培・収穫も体験できるよう取り組んでいます。なお、乳児を中心に預かる園にあって、調理保育などの目立つ食育活動は行っていません。

7 評価項目7 子どもが心身の健康を維持できるよう支援を行っている		評点(〇〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. けがや病気を防止するため、日頃から身の回りの危険について子どもに伝えている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 医療的なケアが必要な子どもに対し、専門機関等との連携に基づく支援を行っている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 保護者に対して感染症や乳幼児突然死症候群(SIDS)等に関する情報を提供し、予防に努めている	<input type="radio"/> 非該当

評価項目7の講評

看護師を中心に医療ケア体制を築き、医療機関と連携した支援を行っています
園内の医療的ケアは、園医との協力体制を築きながら、看護師を中心とした体制を整えて対応することとしています。また、保健行事として「定期健康診断・身体測定・視力検査・尿検査・歯科検診・ぎょう虫検査」等を実施しています。与薬は、心臓や肝臓などの慢性疾患・アレルギー・アトピー・熱性痙攣等に対処する場合のみ「薬・連絡票」に基づいて薬を預かり、看護師が管理しています。

保健衛生マニュアルに則してSIDS及び感染症対策に取り組んでいます

子どもの健康管理は、「保健衛生マニュアル」に則して取り組んでいます。SIDS対策として午睡時の観察は「睡眠チェック表」を用いて行い、体位や呼吸を確認しています。また、感染症予防に向けて、園児・職員ともうがい・手洗いを励行するとともに、消毒液やペーパータオル、加湿器を設置しています。一方、保護者には入園時にガイドブックにより説明するとともに、保健だよりを毎月発行する他、掲示板等で感染症の発生などサーベイランス情報を発信しています。

8 評価項目8 保護者が安心して子育てをすることができるよう支援を行っている		評点(〇〇〇〇●)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 保護者には、子育てや就労等の個々の事情に配慮して接している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 保護者同士が交流できる機会を設けている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 保護者と職員の信頼関係が深まるような取り組みをしている	<input type="radio"/> 非該当
<input type="radio"/> あり <input checked="" type="radio"/> なし	4. 保育所の保育に関して、保護者の考えや提案を聴く機会を設け反映させている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	5. 子どもの発達や育児などについて、懇談会や勉強会を開催し、保護者との共通認識を得る取り組みを行っている	<input type="radio"/> 非該当

評価項目8の講評

保護者とのコミュニケーションについて、日々の会話や保護者会で深めています

保護者とのコミュニケーションについて、日々の送迎時の会話を大切にするとともに、年2回のクラス別保護者会を実施しています。同日は保育参観日を兼ねて、給食の試食を提供したり、園生活の様子をビデオ上映したりするなど、子どもの園生活の様子について積極的に知らせています。一方で、個別面談は行っておらず、あらためて個別の子育てに対する考え方や保育に対する期待を聞く機会は設けていません。

9 評価項目9

地域のニーズに即した子育て支援を実施している

評点(●●●)

評価	標準項目	
<input type="radio"/> あり <input checked="" type="radio"/> なし	1. 地域における在宅子育て家庭のニーズに応じた子育て支援事業を実施している	<input type="radio"/> 非該当
<input type="radio"/> あり <input checked="" type="radio"/> なし	2. 地域における在宅子育て家庭同士が交流できるような支援を行っている	<input type="radio"/> 非該当
<input type="radio"/> あり <input checked="" type="radio"/> なし	3. 提供している子育て支援事業の評価・見直しをしている	<input type="radio"/> 非該当

評価項目9の講評

保育室としての性格から、子育て支援事業は実施していません

同園は「港区保育室」として位置付けられており、区との関係において子育て支援事業の実施が契約に含まれていません。待機児童対策として設置されている施設であり、保育の安定を図ることが優先される状況です。

事業者が特に力を入れている取り組み①		
評価項目	5-1-1	事業所にとって必要な人材構成にしている
タイトル①	保育士の配置必要数を満たすとともに、フリー保育士の設定を目指しています	
内容①	待機児解消を目指す区の要請により、今年度は1才児の受け入れ枠を29名から45名に拡大しました。ただし、0才児は3名の子どもに保育士は1人以上配置する事が義務付けられているという要件に対しても、毎月系列の園から応援職員の派遣を得てようやく対応できている状態です。また、職員のキャリアが浅く、保育の基本的な理解と技術に関する指導を充実させる必要が発生しています。フリー保育士を配置するなど園として職員体制を強化するとともに、職員一人ひとりのキャリア育成に努めています。	

事業者が特に力を入れている取り組み②		
評価項目		
タイトル②		
内容②		

事業者が特に力を入れている取り組み③		
評価項目		
タイトル③		
内容③		

No.	特に良いと思う点	
1	タイトル	桜の木がシンボルツリーとなる公園跡地を園庭としており、駅前にあつて自然に恵まれた環境となつています
	内容	本園の敷地はもともと公園であり、桜の木をはじめとする植樹は豊富で、園内において季節の移り変わりを感じられる環境になっています。桜が咲く季節には地域の方が花見に来園する環境にもなっています。園舎を取り囲むように園庭があるのに加え、2階には広いテラスもあり、駅前の商業地区内にあつて落ち着いて遊べる環境を有しています。また、散歩では、3歳になれば竹芝まで船を見に行く機会も設けています。子どもの年齢から考えるとだいぶ遠方まで出かけており、歩くことで体力を育てています。
2	タイトル	子どもの成長を支援する際に多様な専門性を取り入れ、論理的に子どもの心身の育成を図っている点が高く評価されます
	内容	具体的な保育内容として、本格的なリズムを導入し、有資格講師による指導のもと友だちといっしょに自由な表現をしながら音楽遊びを楽しんでいます。団体行動ではなく自主性を尊重し、心身の調和を図り、感覚を磨き知性の基礎をつくることを目指しています。このように、子どもの成長を支援する際に多様な専門性を取り入れ、論理的に子どもの心身の育成を図っている点が高く評価されます。
3	タイトル	講座や講演会等への参加を通じ、業界への学びが進められています
	内容	保護者の意向については、当年度において第三者評価における利用者調査の実施が行われ、意向把握の面で向上が図られました。また、地域や事業環境に関する情報収集として、区園長会や都保育士会への参加がなされています。積極的に保育士会や講演会等に参加し、業界情報の収集に取り組んでいます。講座、講演等に参加することにより、より深く業界の現状や方向性等を学んでいます。
No.	さらなる改善が望まれる点	
1	タイトル	法人との連絡を密にし、中長期計画および単年度計画の明確化により、方向性の理解を深めることが期待されます
	内容	中長期計画および単年度計画について、法人等で作成されている状況がうかがわれましたが、具体的に確認することはできませんでした。そのため、園としての計画策定への反映が難しい状況となっています。今後は、中長期および単年度の方向性を示すためにも、法人とのコミュニケーションを進め、連絡を密にすることにより、計画の明確化を行い、園および職員に向けた周知と理解を深める取り組みが期待されます。
2	タイトル	研修体系やマニュアルを整備し、保育目標を達成する手段に係る理解を組織的に統一していくことが期待されます
	内容	職員を採用し現場に送り出す段階から、中堅、リーダーへの育成を図るプロセスについて、法人としてキャリアパスを示していません。また、保育実践の質について、そもそも理想とする保育の形態や手法を示しておらず、その方向性に沿った研修機会やテキストやマニュアルなどの基礎資料が整っていません。そのため、職員のキャリアに関係なく、クラス担任が主導で保育を行っている状況です。今後に向けて、保育目標を達成する手段に係る理解を組織的に統一していくことが期待されます。
3	タイトル	保育室のサービスの全体像を示す資料を作成し、利用希望者に情報を発信することが期待されます
	内容	本園に関する情報は、現状では区の保育所案内の中で定員や所在地等の基礎情報を紹介するのにとどまっています。園独自のリーフレットがないため、見学者に対しても口頭での説明しか行われていません。ホームページの作成もなく、現在の保護者世代のニーズに対応した情報発信体制も整っていません。広報および情報開示の第一歩として、リーフレットの作成と保育課程の開示を行うことから、情報発信の充実を図ることが期待されます。